第四十七回岐阜県東西対抗剣道大会
第六十三回岐阜県六地区対抗剣道優勝大会

令和七年十月五日、土岐市駄知体育館において開催されました。

東西対抗

優勝　西軍

優秀者賞

足立佳恵選手（西軍）、森井俊秀選手（西軍）、棚瀬秀一選手（西軍）

齋藤慎哉選手（東軍）、二村匠選手（東軍）

六地区対抗

優勝　岐阜地区

二位　可茂地区

三位　西濃地区

本大会は、約三十年ぶりに土岐支部で開催されました。前回の開催を知る人材も少なく、県下でも格式の高い大会という重圧の中にありながらも手探り状態での準備に不安を抱きながら着手しました。市内に総合体育館がないことで、審判会議室、選手控室、更衣室等を含め、必要な広さを確保できる試合会場の選定から頭を悩ませました。駄知体育館に隣接する公民館を候補としましたが、それぞれ管轄が異なっていたため、会長、理事長が前年から人脈を駆使して仮の使用許可を取り付けるに至り、会場を確保しました。会場は決定したものの、役員席、試合場二面、審判控え席、係員席の設置をすると観客席が確保できないため、県剣道連盟の了承を得て試合場の大きさを確保しつつ、凝縮した設営をしたことで、試合場の面目は保てたと安堵しました。

当年は、土岐市政七十周年の記念すべき年であり、会長から直接打診していただき、土岐市長を来賓としてお招きしてお言葉を頂けたことは感慨深く思います。

試合に先立って行われた公開演武では、剣道七段受有者であり、居合道の指導者でもある井口桂先生と伊藤彰両先生による日本剣道形が披露されました。

午前に六地区対抗剣道大会が行われ、結果は岐阜地区が優勝しましたが、地域を代表する選手同士の試合は、激しく見応えのあるものばかりでした。

午後に東西対抗剣道大会が行われ、高段者の試合らしく重厚で引き寄せられる試合が多く、観客の皆さんが身動きもせず見入っている姿が印象的でした。結果は七対六の僅差で西軍が勝利しましたが、見る者を感動させていただけたと思います。

結びになりますが、本大会に際して格別の御配慮御指導を頂きました皆様に深くお礼を申し上げますとともに、次年度の大会も盛大に実施されますことを祈念致します。

（土岐支部事務局長　西村泰宏）

第六十九回 岐阜県剣道選手権大会

令和七年七月十三日、ＯＫＢぎふ清流アリーナにおいて開催されました。

小学生低学年の部

優　勝　鷲見　幸祐（清心会）

準優勝　竹林　賢人（志道館）

第三位　岩田　蒼志（大垣北部）

第三位　後藤　朝陽（はちまん）

小学生高学年の部

優　勝　加藤優志郎（志道館）

準優勝　片岡　陸人（さくら会）

第三位　市川　愛菜（悟道館）

第三位　成瀬満愛奈（美濃加茂）

一般女子三十歳未満の部

優　勝　杉本　和香（関支部）

準優勝　境井　葵（多治見支部）

第三位　中島　莉緒（岐阜聖徳高）

第三位　福島まかな（関支部）

一般女子三十歳以上五十歳未満の部

優　勝　三好　絢女（加茂支部）

準優勝　広川　未来（加茂支部）

第三位　加藤　尚美（海津支部）

第三位　渡邉　聖子（岐阜支部）

一般女子五十歳以上の部

優　勝　和仁　美恵（高山支部）

準優勝　益田亜希子（岐阜支部）

第三位　大野　一美（本巣支部）

第三位　杉山　洋子（本巣支部）

初段男子の部

優　勝　宮嶋　彩輝（神戸中）